

# 記載例

## I 添付書類

※ご作成の際は、「大規模小売店舗を設置する者が配慮すべき事項に関する指針（平成19年2月1日経済産業省告示16号）（以下、「指針」という。）」をご参照ください。

★経済産業省ホームページ

<https://www.meti.go.jp/policy/economy/distribution/daikibokouritenporittiho.html>

1 法人にあってはその登記簿の謄本、個人にあってはその住民票の写し  
（概要書には添付不要）〔施行規則第3条第2項第1号〕

2 主として販売する物品の種類 〔施行規則第3条第2項第2号〕

※小売業者が複数ある場合は、「別紙（小売業者一覧）のとおり」と記載してください。

3 建物の位置及びその建物内の小売業を行うための店舗の用に供される部分の配置を示す図面 〔施行規則第3条第2項第3号〕

(1) 建物配置図 (p. ○ 図 No. ○ )

※添付図面として p. 17 をご参照ください。

(2) 各階平面図 (p. ○～○ 図 No. ○～○ )

※添付図面として p. 17 をご参照ください。

4 必要な駐車場の収容台数を算出するための来客の自動車の台数等の予測の結果及びその算出根拠 〔施行規則第3条第2項第4号〕

(1) 駐車場の位置及び収容台数の詳細

位 置	収容台数	駐車場の種類
○○○○ (p. ○ 図 No. ○)	○台	○○駐車場
合 計	○台	

【記載例】

- ・位置 → 敷地内北側、店舗屋上、隔地など
- ・駐車場の種類 → 平面駐車場、立体駐車場（自走式、機械式）、公共駐車場など

特記事項

【記載例】

届出○台のほかに、併設施設（マンション、飲食店）○台、業務用○台、施設全体で○台の駐車場を設置します。

(2) 指針による必要駐車台数計算式

事 項 等		各事項算出のための計算式等
地区の区分	商業地区・その他の地区	(理由 )
S：店舗面積	m <sup>2</sup>	
A：店舗面積あたり 日来店客数原単位	人/m <sup>2</sup>	
B：ピーク率	%	
L：駅からの距離	m	(駅名 ○○線○○駅 )
C：自動車分担率	%	
D：平均乗車人員	人/台	
E：平均駐車時間係数		
必要駐車台数	台	$S \times A \times B \times C \div D \times E$
ピーク時台数	台	$S \times A \times B \times C \div D$
一日当たりの来客台数	台	$S \times A \times C \div D$

※駐車台数の算出方法は、「指針」を参照してください。  
 ※S～Eの値は、端数処理はしないでください。  
 ※必要駐車台数は、小数点以下第1位を四捨五入してください。

(3) 特別の事情による駐車台数の算出

特別の事情の説明：

※指針による計算式によらない場合のみ記載してください。

必要駐車台数	台
算 出 根 拠	

(4) 駐車場の分散確保の有無

分 散 確 保	理 由
有 ・ 無	

(5) 駐車場の料金の有無

駐車場の料金	理 由
有 ・ 無	

(6) 従業員等駐車場（業務用を含む）

事 項	有無の別	当該小売店舗駐車場と共用・別途の別	収容台数	備 考 (駐車台数算定の根拠等)
従業員等駐車場	有・無	共用・別途	〇〇台	(従業員数 〇〇名) (業務用車両台数延べ約〇〇台)

(7) 併設施設利用者のための駐車場について

名称	営業内容	面積	当該小売店舗駐車場と共用・別途の別	併 設 施 設		
				必要駐車台数	算出根拠	収容台数
商業施設	サービス業	〇〇㎡	共用・別途	〇〇台		〇〇台
住宅施設	住宅	〇〇㎡	共用・別途	〇〇台		〇〇台
商業施設	飲食業	〇〇㎡	共用・別途	〇〇台		〇〇台

※「指針」の「併設施設を含めた必要駐車台数の考え方」を参考にしてください。  
 ※当該施設の収容能力、利用時間、回転率等をもとに算出根拠を示してください。

5 駐車場の自動車の出入口の形式又は来客の自動車の方向別台数の予測の結果等駐車場の自動車の出入口の数及び位置を設定するために必要な事項

[施行規則第3条第2項第5号]

(1) 駐車場の自動車の出入口の形式

ア 出入口についての駐車場法等に基づく構造及び設備の基準の適用

適用の有・無	有・無	適用基準	
遵守状況 ・ 配慮状況			

イ 駐車場の入庫処理能力

出入口の場所	1時間あたり入庫処理能力	算出根拠	ピーク1時間に予想される来客の自動車台数
出入口 No. 〇 (p. 〇)	〇〇台		〇〇台
出入口 No. 〇 (p. 〇)	〇〇台		〇〇台

※自走式で発券ブースのない駐車場は記載の必要はありません。  
 ※{1時間あたり入庫処理能力} = 60分(3,600秒) / (メーカーから提供される1台あたりの処理時間 + 乗客の乗降時間) × 発券ブース等の台数(1つの入口で発券ブース等が複数台設置されている場合)  
 ※小数点以下第1位を四捨五入してください。

ウ 敷地内駐車待ちスペース

出入口の場所	駐車待ちスペースの有無	実際に用意するスペースの長さ	発券ブースの有無	必要な駐車待ちスペース		駐車待ちスペース『無』の場合その理由・対策
				長さ	算出根拠等	
出入口No.○ (p.○)	有・無	○.○m	有・無	○.○m		
出入口No.○ (p.○)	有・無	○.○m	有・無	○.○m		

※ {必要な駐車待ちスペース} = (当該入口の1分あたりの来台数 × 1.6 - 当該入口の1分あたりの入庫処理可能台数) × 6m (平均車頭間隔)

(2) 敷地周辺の道路の状況

項目	道路No. 1 (都道○○号)	道路No. 2 (特別区道○○号線)	道路No. 3 (特別区道○○号線)	道路No. 4 (私道)	
合計	10m	8m	8m	6m	
幅員構成	車道	6m	5m	5m	3m
	車線数	片側・交互 1車線	片側・交互 1車線	片側・交互 1車線	片側・交互 1車線
	歩道の有無	左 1m	左 1m	左 1m	左 1m
		右 1m	右 1m	右 1m	右 1m
	中央分離帯の有無	有・無	有・無	有・無	有・無
	路肩	2m	1m	1m	1m
安全施設等	ガードレール				
交通規制	最大積載量2t以上 貨物通行禁止				
信号交差点数 (うち右折帯設置の交差点数)	2交差点 (1交差点)	2交差点 (1交差点)	2交差点 (1交差点)	2交差点 (1交差点)	
横断歩道の有無	有・無	有・無	有・無	有・無	
通学路の有無	有・無	有・無	有・無	有・無	
バス路線の有無	有・無	有・無	有・無	有・無	
バスの事業者名	○○バス				
バス停の有無	有・無	有・無	有・無	有・無	
バス停の名称	○○○○前				
駐車場出入口から敷地よりのバス停ポールまでの距離	12m				

※道路No.及び名称(正式名称、わかりにくい場合は通称も記載)を必ず記載してください。  
 ※別添「周辺見取図」及び「駐車場配置図」にも、道路の「No.」及び「名称」を表示してください。  
 ※交通規制の内容を記載し、「周辺見取図」にも規制内容を記載してください。  
 ※隔地駐車場等がある場合は、その周辺道路についても適宜記載してください。

(3) 来客の自動車の方向別台数の予測の結果等

<交通量調査及び交通量予測について>

※平日及び休日（日曜）それぞれについて調査・予測してください。

※調査（予測）エリアは、原則として経路予定の店舗周辺最寄りの交差点となります。

※調査（予測）時間帯は、開店から閉店までの時間帯＋前後1時間ずつとします。

※調査内容は、車種別・時間帯別・方向別台数となります。

※調査・予測結果は、別添書類「Ⅱ-1 交通量調査及び交通量予測資料」を添付してください。

見取図上に調査地点を図示してください。

※東京都産業労働局『大規模小売店舗立地法のしおり』の「Ⅱ-2 交通量調査及び交通量予測資料」を参照してください。

ア 現状の交通量調査の結果

調査年月日	年 月 日( ) 年 月 日( )
調査場所	
調査委託先	
調査方法	
調査結果	別添書類とする。

イ 開店後の周辺道路の交通量予測

予測方法	
予測の根拠	
予測結果	別添書類とする。

(4) 併設施設利用者の交通量の予測

予測方法	
予測の根拠	
予測結果	別添書類とする。

6 来客の自動車を駐車場に案内する経路及び方法

[施行規則第3条第2項第6号]

(1) 周辺見取図に来客の自動車の案内経路を表示した図面 (p. ○ 図 No. ○ )

※添付図面として p. 17 をご参照ください。

(2) 経路等を来客に知らせる方法及び管理体制

項目	具体的な内容
案内表示の設置 (看板等)	(設置場所・内容等) ※看板、ミラー、出庫警報などの出入口の安全対策の設備は、「建物配置図」等に配置場所を記載してください。また、案内誘導看板は「周辺見取図」等に記載してください。
ちらし等の配布	(配布方法・内容等)
交通整理員の配置	(配置場所・人数・配置日時等) ※平常時及び繁忙時に分け、対応を詳しく記載してください。 ※交通整理員とは別に安全対策を行う係員がいる場合は、その旨も記載してください。 ※交通整理員等は、「建物配置図」等に配置場所を記載してください。
店舗営業時間外、 深夜時間帯の管理等	(配置場所・人数・配置日時、防犯対策等)
右折入出庫の有無	※右折入出庫がある場合は、理由及び安全対策を具体的に記載してください。 【記載例】 出入口No.○については、前面道路が一方通行のため、右折入出庫とした。このため、出入口には交通整理員を常時配置し、安全確保に努める。
その他	※通学時間帯の対応など、特に配慮していることがあれば記載し、適宜図面にも盛り込んでください。 【記載例】 出入口No.△には、右折出庫禁止看板、ミラーを設置する。

7 自転車駐車場の計画

(1) 必要駐輪台数算出根拠

条例（要綱）名	中野区自転車等放置防止条例 第11条第1項
S：店舗面積	〇〇〇㎡
必要駐輪台数算出式	店舗面積 20 平方メートルごとに 1 台
必要駐輪台数	〇〇台

※「中野区自転車等放置防止条例」第11条第2項の店舗面積とは、売場、催事場、商品展示場、試着室及び仮縫室です。  
 ※従業員専用として設けられた部分の床面積は合計しません。

(2) 自転車駐車場の位置及び収容台数の詳細

位 置	収容台数
〇〇〇〇 (p. 〇 図 No. 〇)	〇台
合 計	〇台

【記載例】  
 ・位置 → 敷地内南側、店舗地下1階、隔地など

特記事項

【記載例】  
 ・自動二輪車の駐車場を別途〇台分設置します。  
 ・届出〇台のほかに、従業員用〇台の自転車駐車場を設置します。

(3) 自転車駐車場の構造、収容台数及び面積

No.	構造	収容台数		合計	面積	駐車区画の大きさ (1台当たり)	
		自転車	原付			自転車用	原付用
No. 〇	ラック式	〇台	〇台	〇台	〇〇㎡	〇. 〇m × 〇. 〇m	
No. 〇	平面式	〇台	〇台	〇台	〇〇㎡	〇. 〇m × 〇. 〇m	〇. 〇m × 〇. 〇m
No. 〇	機械式	〇台	〇台	〇台	〇〇㎡	〇. 〇m × 〇. 〇m	
合計		〇台	〇台	〇台	〇〇㎡		

(4) 自転車駐車場の管理体制

項目	具体的な内容
整理員等の配置	※配置場所・人数・配置日時等を記載してください。 ※駐輪場の整理員等の配置がある場合は、「建物配置図」等にも記載してください。
店舗営業時間外、深夜時間帯の管理等	※配置場所・人数・配置日時、防犯対策等を記載してください。
料金の有無及び理由	( 有 ・ 無 ) ※その理由を記載してください。

8 荷さばき施設において商品の搬出入を行うための自動車の台数及び荷さばきを行う

時間帯

[施行規則第3条第2項第7号]

時間帯	2 t 車	4 t 車	計	廃棄物 車両	平均的な荷さばき等処理時間			延べ荷さ ばき処理 時間
					2 t	4 t	廃棄物	
8時～9時	○台	○台	○台	○台	〇〇分	〇〇分	〇〇分	〇〇分
9時～10時								
10時～11時								
11時～12時								
12時～13時								
13時～14時								
14時～15時								
15時～16時								
16時～17時								
17時～18時								
18時～19時								
19時～20時								
20時～21時								
21時～22時								
22時～23時								
合計	○台	○台	○台	○台				

※廃棄物車両は、荷さばき施設を利用する場合のみ記載してください。

**【記載例】**  
 ・同時に○台(〇〇分)の作業が可能のため、ピーク時の○台(〇〇分)に対応可能と考えています。万一○台以上の荷さばき車両が集中した場合には、待機場所での待機が可能であり、周辺交通に影響を及ぼすことはありません。また、道路上での入庫待ち等を発生させることがないように、計画的な荷さばきを徹底します。

※ピーク時における対応策について記載してください。  
 ※交通整理員の配置など、荷さばき時における交通安全上の配慮事項があれば、記載してください。  
 ※特に通学路に出入口が面している場合など、通学時間帯についての配慮事項があれば記載してください。

9 荷さばき施設の計画

(1) 荷さばき施設の位置及び面積の詳細

No.	位置	面積
No. ○	○○○ (p. ○ 図 No. ○)	○○.○○㎡
No. ○	○○○ (p. ○ 図 No. ○)	○○.○○㎡
合計		○○㎡

※合計値は、小数点以下第1位を四捨五入してください。

特記事項

【記載例】

届出○○㎡のほかに、併設施設○○㎡、業務用○○㎡、施設全体で○○㎡の荷さばき施設を設置します。

(2) 荷さばきに必要な作業スペース

荷さばき施設 No.	想定する車両	想定される搬入商品 全体の大きさ (車両1台分)	作業スペース の大きさ	搬入方法の説明
No. ○ (p. ○ 図 No. ○)	○ t 車	全長 ○.○m 全幅 ○.○m 全高 ○.○m	奥行 ○.○m 幅 ○.○m 高さ ○.○m	ロールボックス または段ボール を倉庫に搬送

※「作業スペース」は、搬出入商品を荷おろしする場所で、保管施設及び駐車スペースには含みません。

※「作業スペースの大きさ $\geq$ 想定される搬入商品全体の大きさ」の関係になります。

(3) 搬出入車両の安全・円滑な駐車及び出入り

荷さばき施設 No.	想定する車両			軌跡図	はり下の 最低高さ	出入口での 前進入出庫	対応 等
	大きさ						
No. ○ (p. ○ 図 No. ○)	○ t 車	全長	全幅	全高	p. ○ 図 No. ○	○.○m	可・否

※安全・円滑な駐車及び入出庫を行うための対応等を記載してください。

※駐車場条例による技術的基準を遵守してください。

(4) 荷さばき施設の構造

荷さばき施設 No.	同時作業可能台数		待機スペースの有無	遮音等の対応
	想定する車両	台数		
No. ○ (p. ○ 図 No. ○)	○ t 車	○ 台	有・無 縦○.○m×横○.○m	

(5) 搬出入車両の出入口の数

専用出入口の有無	搬出入車両の出入口の数	対応等
有	出入口 1 箇所	
無		

10 遮音壁を設置する場合にあっては、その位置及び高さを示す図面

[施行規則第 3 条第 2 項第 8 号]

遮音壁	遮音壁の高さ	遮音壁の厚さ	材質・構造	遮音壁の位置
No. ○	○.○m	○.○m		p. ○ 図 No. ○
No. ○	○.○m	○.○m		p. ○ 図 No. ○

※遮音壁を設置する場合は、その構造（高さ・厚さ・材質）及び位置を記載してください。  
 ※図面にも遮音壁の位置を記載してください。  
 ※遮音壁を設置しない場合は、「遮音壁の設置なし」と記載してください。

11 冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機を設置する場合にあっては、それらの稼動時間帯及び位置を示す図面

[施行規則第 3 条第 2 項第 9 号]

※関連の設備及び稼動時間帯の一覧を記載してください。  
 （記載方法については、東京都産業労働局『大規模小売店舗立地法のしおり』の「II-3 騒音予測資料」をご参照ください。）  
 ※該当する設備がない場合は、「該当の設備なし」と記載してください。

12 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測の結果及びその算出根拠

[施行規則第3条第2項第10号]

※平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測の結果を記載してください。  
 ※「予測結果の評価」には騒音に対する対策等の詳細（超過の理由や対策）を記載してください。  
 ※予測結果が環境基準を超過する場合は、予測結果に網掛けをしてください。

	予測地点	昼間		夜間	
	GLからの予測地点の高さ (m)	環境基準 (dB)	予測結果 (dB)	環境基準 (dB)	予測結果 (dB)
A					
B					
C					
D					

予測結果の評価について

【記載例】

A地点では、車両走行音により、夜間の予測結果が環境基準を超過した。このため、午後11時以降、住宅に近い側の駐車場の利用規制を行い静穏に努める。

なお、近隣から騒音に対する苦情があった場合は、誠意をもって対応する。

<騒音予測について>

※騒音対策を施したあとの騒音予測結果を記載してください。

※騒音予測地点は、建物の周囲(4方向)からそれぞれ近接した最も騒音の影響を受けやすい地点に立地し又は立地可能な住居等の屋外(原則として相手方の敷地の境界線)とし、A地点、B地点、C地点、D地点等と表記してください。(敷地の一辺が50m以上ある場合等、敷地の形状によっては適宜予測地点を追加してください。)

※騒音発生源と予測地点、周辺環境との関係が分かるよう、別添図面(下記①~④)に各予測地点を記載してください。

- ① 騒音予測に関する平面図
- ② 騒音発生源となる施設・設備の配置図
- ③ 騒音発生源・予測地点・遮音壁等の立面図
- ④ 建物構造の分かる図面

※各予測地点の騒音レベルの算出根拠は、別添書類「Ⅱ-2 騒音予測資料」の中で算出過程を明示してください。

※算出根拠の様式は、東京都産業労働局『大規模小売店舗立地法のしおり』の「Ⅱ-3 騒音予測資料」をご参照ください。

- 13 夜間において特定小売店舗の施設の運営に伴い騒音が発生することが見込まれる場合にあっては、その騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の結果及びその算出根拠 〔施行規則第3条第2項第11号〕

※深夜営業その他の理由により夜間(午後11時～翌日午前6時)騒音が発生する見込みがある場合のみ記載してください(該当なしの場合は、「該当なし」と記載)。  
 ※「予測結果の評価」には、騒音に対する対策等の詳細(超過の理由、対策等)を記載してください。  
 ※保全対象建物の壁面予測を行った場合は、その結果も記載してください。  
 ※予測結果が規制基準を超過する場合は、予測結果に網掛けをしてください。

	予測地点	規制基準 (dB)	予測結果 (dB)
	GLからの予測地点の高さ (m)		
a			
b			
c			
d			

予測結果の評価について

【記載例】

a 地点では、車両走行音により、夜間の予測結果が規制基準を超過した。このため、午後11時以降、住宅に近い側の駐車場の利用規制を行い静穏に努める。  
 なお、近隣から騒音に対する苦情があった場合は、誠意をもって対応する。

<騒音予測について>

※騒音予測地点は、隣接する住居等への影響を考慮した高さにおける店舗の敷地境界線とし、a地点、b地点、c地点、d地点等と表記してください。  
 ※敷地の一边が50m以上ある場合等、敷地の形状によっては適宜予測地点を追加してください。  
 ※夜間最大値が規制基準を超える場合は、保全対象建物での壁面予測も行ってください。  
 ※騒音発生源と予測地点、周辺環境との関係が分かるよう、別添図面(下記①～④)に各予測地点を記載してください。  
 ① 騒音予測に関する平面図  
 ② 騒音発生源となる施設・設備の配置図  
 ③ 騒音発生源・予測地点・遮音壁等の立面図  
 ④ 建物構造の分かる図面  
 ※各予測地点の騒音レベルの算出根拠は、別添資料「II-2 騒音予測資料」の中で算出過程を明示してください。  
 ※算出根拠の様式は、東京都産業労働局『大規模小売店舗立地法のしおり』の「II-3 騒音予測資料」をご参照ください。

14 必要な廃棄物等の保管施設の容量を算出するための廃棄物等の排出量等の予測の結果及びその算出根拠 [施行規則第3条第2項第12号]

(1) 廃棄物等の保管施設の位置及び容量の詳細

No.	位置	容量
No. ○	○○○ (p. ○ 図 No. ○)	○○.○○○○m <sup>3</sup>
No. ○	○○○ (p. ○ 図 No. ○)	○○.○○○○m <sup>3</sup>
合計		○○.○○m <sup>3</sup>

※合計値は、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで記載してください。

特記事項

**【記載例】**  
 上記廃棄物等保管施設は、併設施設（飲食店、サービス施設）の廃棄物等保管施設と共用します。

(2) 廃棄物等の排出量等の予測

業態	総合店・衣料品専門店・食料品専門店・住、生活関連品専門店				
廃棄物等種別	店舗面積:S	一日あたり廃棄物排出量 (指針原単位×S):A	平均保管 日数:B	見かけ比重 (t/m <sup>3</sup> ):C	排出予測量 A×B÷C
紙製廃棄物等 (再資源化の可能なもの に限る)	m <sup>2</sup>	t	日		○○.○○○○m <sup>3</sup>
金属製廃棄物等(アルミ 製、スチール製の缶等)	m <sup>2</sup>	t	日		○○.○○○○m <sup>3</sup>
ガラス製廃棄物等(ガラ ス製の容器等)	m <sup>2</sup>	t	日		○○.○○○○m <sup>3</sup>
プラスチック製廃棄物等 (飲料容器、食料品トレイ等)	m <sup>2</sup>	t	日		○○.○○○○m <sup>3</sup>
生ごみ等(食品廃棄物等)	m <sup>2</sup>	t	日		○○.○○○○m <sup>3</sup>
その他の可燃性廃棄物等	m <sup>2</sup>	t	日		○○.○○○○m <sup>3</sup>
合計					○○.○○m <sup>3</sup>

※合計値は、小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで記載してください。

見かけ比重の根拠等

(3) 指針によらない廃棄物等の排出量予測

指針によらない説明
-----------

予測排出量	〇〇.〇〇m <sup>3</sup>
排出量予測の根拠	

※指針によらない場合のみ記載してください。

(4) 小売店舗以外の施設からの廃棄物等の排出状況

廃棄物保管施設の状況	小売店舗と共用 ・ 小売店舗と別途確保
------------	---------------------

※小売店舗以外の施設がある場合のみ記載してください。

(共用の場合)

小売店舗以外の施設からの廃棄物等の予測排出量	小売店舗以外の施設からの廃棄物等の排出量の予測の根拠
〇〇.〇〇m <sup>3</sup>	

※計画している廃棄物保管量と排出予測量評価を記載してください。  
※種別毎に保管容量が予測容量に対応できることを検証してください。

15 廃棄物減量化及びリサイクルについての計画

廃棄物減量化及び発生抑制、リサイクル計画の予定及び概要
-----------------------------

【記載例】 ・ ペットボトル破砕機の設置
-------------------------

※法令に基づいた計画・予定など、該当する項目について、なるべく具体的に詳しく記載してください。  
※業種・業態にあわせた計画としてください。  
※記載内容や表現については各法令に基づいた表記としてください。

周辺住民への周知方法
------------

16 廃棄物等に関連する対応方策

--

※食品加工時の悪臭原因物取除機器設置、換気扇等の配置位置の配慮、定期的な清掃の実施等について記載してください。

17 その他配慮事項

【記載例】

- ・ 深夜時間帯の防犯対策
- ・ 敷地内の緑化計画等景観への配慮
- ・ 屋外照明や広告塔照明等の計画と光害対策
- ・ その他社会貢献等配慮事項

18 建物配置図、各階平面図及び建物の周囲の状況を示す図面

[施行規則第3条第2項第13号]

新設届出書及び変更届出書には、下記の図面を添付してください。なお、変更届出書の場合は、変更に係る部分の図面をご提出ください。

(例)

図面番号	図面の名称	図面の種類
1	広域見取図	建物位置図
2	都市計画図	都市計画図
3	周辺見取図	来客自動車の案内経路図
		交通量調査の結果
		交通量予測の結果等
4	建物配置図	届出店舗が「一の建物」であることを示す図面
		駐車場配置図
		自転車駐車場配置図
		荷さばき施設配置図
		廃棄物等保管施設の配置図
		屋外照明・広告塔照明配置図
5	平面図	各階平面図(B1階)
6		各階平面図(1階)
7		各階平面図(2階)
8		各階平面図(3階)
9		各階平面図(4階)
10		各階平面図(5階)
11		各階平面図(6階)
12		各階平面図(屋上)
13	車両軌跡図	車両軌跡図
		荷さばき車両等軌跡図
14	廃棄物等保管施設詳細図	廃棄物等保管施設の配置図
15	騒音予測に関する平面図	騒音予測に関する平面図
		騒音発生源となる施設・設備の配置図
16	騒音予測に関する立面図	騒音発生源・予測地点・遮音壁等の立面図
		建物構造の分かる図面

※添付図面の作成方法については、東京都産業労働局『大規模小売店舗立地法のしおり』の「Ⅱ 別添書類」をご参照ください。